

令和 3 年度

専攻科学生募集要項

入 学 案 内

(出 願 書 類 添 付)

推 薦 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和 2 年 4 月 22日(水) ^{30日(木)} ~ 4月23日(木) ^{5月1日(金)}
	検 査 日	令和 2 年 5 月 9日(土) ^{16日}
	合 格 発 表 日	令和 2 年 5 月 14日(木) ^{21日}
	入学確約書提出期限	令和 2 年 5月25日(月) ^{6月1日}
学 力 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和 2 年 5 月 13日(水) ^{20日} ~ 5 月 15日(金) ^{22日}
	検 査 日	令和 2 年 5 月 23日(土) ^{30日}
	合 格 発 表 日	令和 2 年 5月28日(木) ^{6月4日}
	入学確約書提出期限	令和 2 年 10月28日(水) ^{12月25日(金)}
社 会 人 特 別 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和 2 年 5 月 13日(水) ^{20日} ~ 5 月 15日(金) ^{22日}
	検 査 日	令和 2 年 5 月 23日(土) ^{30日}
	合 格 発 表 日	令和 2 年 5月28日(木) ^{6月4日}
	入学確約書提出期限	令和 2 年 10月28日(水) ^{12月25日(金)}
アドミッション・ オフィス選抜 (AO選抜)	願 書 受 付 期 間	令和 2 年 9 月 29 日(火) ~ 10 月 1 日(木)
	検 査 日	令和 2 年 10 月 17 日(土)
	合 格 発 表 日	令和 2 年 10 月 22 日(木)
	入学確約書提出期限	令和 2 年 11 月 4 日(水)
入 学 手 続 き		令和 3 年 2 月下旬頃(決定次第別途通知する)



独立行政法人国立高等専門学校機構

阿 南 工 業 高 等 専 門 学 校

徳島県阿南市見能林町青木265 (〒774-0017)

T E L (0884) 23-7100 (代 表)

(0884) 23-7130 (学生課直通)

F A X (0884) 22-4232 (学生課)

U R L <https://www.anan-nct.ac.jp>

目 次

学生募集要項

I 募集人員	1
II 選抜方法	1
III 推薦による選抜	2
IV 学力による選抜	5
V 社会人特別選抜	7
VI A〇による選抜	10
VII そ の 他	13
1 検定料の返還について	13
2 入試情報の開示について	13
3 個人情報の取扱いについて	13
4 入学手続	13
5 連 絡 先	13

入 学 案 内

1 設置目的	14
2 専攻科のアドミッション・ポリシー	14
3 入学定員	14
4 学習・教育到達目標	14
5 各コースの内容	16
6 教育課程	17
7 修業年限及び修了要件等	20
8 入学当初に必要な諸経費	21
9 入学料・授業料免除	21
10 奨学金制度	21
11 学生寮	21
「創造技術システム工学」教育プログラム修了要件	22

添 付 書 類

- 1 専攻科入学願書
 - ・推薦・A〇による選抜用
 - ・学力による選抜用
 - ・社会人特別選抜用
- 2 受検票・写真票
- 3 専攻科調査書
- 4 推薦書若しくは自己推薦書
 - ・推薦による選抜用
 - ・社会人特別選抜用
 - ・A〇による選抜用
- 5 検定料払込証明書
- 6 検定料の納入について
- 7 専攻科出願書類提出用封筒
- 8 あて名票

令和 3 年度 専攻科学生募集要項

I 募 集 人 員

創造技術システム工学専攻 16 名

機械システムコース

電気電子情報コース

建設システムコース

応用化学コース

II 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力による選抜、社会人特別選抜及びアドミッション・オフィス（AO）による選抜とし、下記のとおり実施する。

選 抜 区 分	選 抜 実 施 期 日	募 集 人 員
推 薦 に よ る 選 抜	令和 2 年 5 月 9 日 ^{16 日} (土)	8 名程度
学 力 に よ る 選 抜	令和 2 年 5 月 23 日 ^{30 日} (土)	8 名程度
社 会 人 に よ る 選 抜	令和 2 年 5 月 23 日 ^{30 日} (土)	若 干 名
A O に よ る 選 抜	令和 2 年 10 月 17 日 (土)	若 干 名

※専攻科を修了するには、本校が定める教育プログラム「創造技術システム工学」の修了要件を満たす必要があります。ついては、本校以外の卒業者（見込み者も含む。）が出願する場合は、出願資格確認のため、必ず各選抜の定める日までに学生課（Tel.0884-23-7130）に照会してください。

Ⅲ 推薦による選抜

1 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、出身(在籍)学校長の推薦を得た者で、(9)～(12)を満たしていること。

- (1) 高等専門学校を卒業した者(令和3年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 短期大学を卒業した者(令和3年3月卒業見込みの者を含む。)
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者(令和3年3月修了見込みの者を含む。)のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の専攻科の課程を修了した者(令和3年3月修了見込みの者を含む。)のうち、学校教育法第58条の2(同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。)の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(令和3年3月修了見込みの者を含む。)
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者(令和3年3月修了見込みの者を含む。)
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(令和3年3月修了見込みの者を含む。)
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 阿南工業高等専門学校教育プログラム履修に関する規則に定める科目(本校4,5年次に開講する科目のみ)に相当するもので、履修した科目の学業成績の平均点が75点以上である者
- (10) 出願日前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト又はTOEIC IPテストにおいて375点以上の成績を有する者、又は実用英語技能検定2級以上の成績を有する者、又は工業英語能力検定3級以上の成績を有する者
- (11) 学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (12) 合格した場合、入学する意志が強固である者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

30日（木）

5月1日（金）

期 間	令和2年4月 22日(水) から令和2年 4月23日(木) までとする。 郵送の場合も、令和2年 4月23日(木) 必着のこと。 5月1日（金）
時 間	9時00分から16時30分まで。
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎ 0884-23-7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。 志望するコース名を記載すること。
受 検 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したもの。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、 厳封したもの (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校 長が作成し、厳封したもの (3) 英語証明書：出願日前2年以内に実施され、出願日ま でに正式な結果通知を受け取ったTOE I C公開テスト 若しくはTOE I C I Pテスト、又は実用英語検定、又 は工業英検のスコアや級がわかる証明書等の写し
推 薦 書	本校所定の用紙に、出身（在籍）学校長が作成したもの。
入 学 検 定 料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最 寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金 による検定料の受付はできませんので注意してください。） 本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振 込をしてください。 *別紙の「検定料の納入について」を参照してください。
受 検 票 返 信 用 封 筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円切手を貼付 したもの。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）また、 速達を希望する場合には、374円切手を貼付したもの。 ただし、願書を持参した場合には不要。封筒は、長形3号 封筒とする。（120 mm×235 mm）
あ て 名 票	本校所定の用紙に、合格通知書を受ける住所、郵便番号、 氏名等を記入すること。（自宅外の者は〇〇方を記入する こと。）
そ の 他	外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出すること。

＊ 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑥ 本校以外から出願する者は、あらかじめ確認が必要です。令和2年4月13日(月)までに本校学生課に相談してください。

(3) 身体に障害のある入学志願者との事前相談

受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本校への相談が必要です。令和2年4月13日(月)までに本校学生課に相談してください。

3 選 抜 の 方 法

推薦による選抜検査は、推薦書、調査書（TOEIC、又は英検、又は工業英検の成績を含む。）及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。以下同じ。）により行う。なお、提出された推薦書等の出願書類の記載内容により、面接を免除する場合がある。

- (1) 日 時 令和2年5月~~9日~~^{16日}(土)
受 付 12:30～13:00
面 接 13:30～

- (2) 場 所 阿南工業高等専門学校
＊「受検票」を必ず携行すること

4 合 格 者 の 発 表

令和2年5月~~14日~~^{21日}(木)午前10時、本校に掲示するとともにホームページにも掲載する。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとする。また、推薦者宛に合否を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を送付する。

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じない。

5 入 学 確 約 書 の 提 出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和2年~~5月25日~~^{6月1日}(月)までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出すること。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱う。

6 「推薦による選抜」で不合格となった者の「学力による選抜」の受検

「推薦による選抜」の結果、不合格となった者で「学力による選抜」の受検を希望する者は、「学力による選抜」の出願手続きをあらためて行うこと。

IV 学力による選抜

1 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当していること。

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和2年5月 13日 ^{20日} (水)から令和2年5月 15日 ^{22日} (金)までとする。 郵送の場合も、令和2年5月 15日 ^{22日} (金)必着のこと。
時 間	9時00分から16時30分まで。
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木265 ☎0884-23-7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。 志望するコース名を記載すること。
受 検 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したもの。

調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、厳封したもの (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校長が作成し、厳封したもの (3) 英語証明書：出願日前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト若しくはTOEIC IPテスト、又は実用英語検定のスコアや級がわかる証明書等の写し
入 学 検 定 料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金による検定料の受付はできませんので注意してください。） 本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振込をしてください。 *別紙の「検定料の納入について」を参照してください。
受 検 票 返 信 用 封 筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84 円切手を貼付したもの。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）また、速達を希望する場合には、374 円切手を貼付したもの。ただし、願書を持参した場合には不要。封筒は、長形3号封筒とする。（120 mm×235 mm）
あ て 名 票	本校所定の用紙に、合格通知書を受ける住所、郵便番号、氏名等を記入すること。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）
そ の 他	外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出すること。

＊ 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑥ 本校以外から出願する者は、あらかじめ確認が必要です。令和2年4月24日(金)までに本校学生課に相談してください。

(3) 身体に障害のある入学志願者との事前相談

受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本校への相談が必要です。令和2年4月24日(金)までに本校学生課に相談してください。

3 選 抜 の 方 法

学力による選抜検査は、数学の筆記試験、調査書（TOEIC、又は英検の成績を含む。）及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）により行う。

なお、原則として数学の得点が満点の30%未満の場合は不合格とする。

- (1) 日 時 令和2年5月~~23日~~^{30日}(土)
受 付 9:30～9:40
数 学 10:00～11:30
面 接 12:40～
- (2) 場 所 阿南工業高等専門学校
*「受検票」を必ず携行すること

4 合格者の発表

令和2年~~5月28日~~^{6月4日}(木) 午前10時、本校に掲示するとともにホームページにも掲載する。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとする。また、合格者には「合格通知書」を送付する。

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じない。

5 入学確約書の提出

12月25日(金)

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和2年~~10月28日(水)~~までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出すること。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱う。

V 社会人特別選抜

1 出 願 資 格

企業等に在職する者で、次の(1)～(8)のいずれかに該当していること。また、所属する企業等の長が勤務成績、人物ともに優れていると認め推薦する者で、かつ、合格すれば在職のまま本校専攻科へ入学が可能である者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規程により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和2年5月 13日 ^{20日} (水)から令和2年5月 15日 ^{22日} (金)までとする。 郵送の場合も、令和2年5月 15日 ^{22日} (金)必着のこと。
時 間	9時00分から16時30分まで。
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎ 0884-23-7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。 志望するコース名を記載すること。
受 検 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したもの。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したもの (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校長が作成し、厳封したもの (3) 英語証明書：出願日前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト若しくはTOEIC I Pテスト、又は実用英語検定のスコアや級がわかる証明書等の写し
推 薦 書	本校所定の用紙により、所属する企業等の長が作成し、厳封したもの。
入 学 検 定 料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金による検定料の受付はできませんので注意してください。） 本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振込をしてください。 *別紙の「検定料の納入について」を参照してください。
受 検 票 返 信 用 封 筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円切手を貼付したもの。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）また、速達を希望する場合には、374円切手を貼付したもの。ただし、願書を持参した場合には不要。封筒は、長形3号封筒とする。（120mm×235mm）
あ て 名 票	本校所定の用紙に、合格通知書を受ける住所、郵便番号、氏名等を記入すること。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）
そ の 他	外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出すること。

＊ 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑥ 本校の卒業生以外が出願する場合は、あらかじめ確認が必要です。令和2年4月24日(金)までに本校学生課に相談してください。

(3) 身体に障害のある入学志願者との事前相談

受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本校への相談が必要です。令和2年4月24日(金)までに本校学生課に相談してください。

3 選 抜 の 方 法

社会人特別選抜検査は、企業等の長から提出された推薦書、調査書（TOEIC、又は英検の成績を含む。）及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）により行う。

- (1) 日 時 令和2年5月~~23日~~^{30日}(土)
受 付 12:20～12:25
面 接 12:40～

- (2) 場 所 阿南工業高等専門学校
＊「受検票」を必ず携行すること

4 合 格 者 の 発 表

令和2年~~5月28日~~^{6月4日}(木)午前10時、本校に掲示するとともにホームページにも掲載する。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとする。また、推薦者宛に合否を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を発送する。

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じない。

5 入 学 確 約 書 の 提 出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和2年~~10月28日(水)~~^{12月25日(金)}までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出すること。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱う。

VI AOによる選抜

AO選抜は、専攻科が求める技術者としての優れた可能性を審査するものです。

書類審査では、自己推薦書をもとに志願者の入学後の学習意欲や複合的な課題に対する解決能力を有しているかを判定します。また、面接審査では自己推薦書の内容についてプレゼンテーションをしていただき、技術者としての可能性や資質について判定し、また、アドミッションポリシーとの適合性を確認します。

1 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、(9)～(11)を満たしていること。

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 阿南工業高等専門学校教育プログラム履修に関する規則に定める科目（本校4、5年次に開講する科目のみ）に相当するもので、履修した科目の学業成績の平均点が70点以上である者
- (10) 出願日前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト又はTOEIC IPテストにおいて375点以上の成績を有する者、又は実用英語技能検定2級以上の成績を有する者、又は工業英語能力検定3級以上の成績を有する者
- (11) 学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (12) 合格した場合、入学する意志が強固である者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和2年9月29日(火)から令和2年10月1日(木)までとする。 郵送の場合も、令和2年10月1日(木)必着のこと。
時 間	9時00分から16時30分まで。
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎0884-23-7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。 志望するコース名を記載すること。
受 検 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したもの。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、 厳封したもの (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校 長が作成し、厳封したもの (3) 英語証明書：出願日前2年以内に実施され、出願日ま でに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト 若しくはTOEIC IPテスト、又は実用英語検定、又 は工業英検のスコアや級がわかる証明書等の写し
自 己 推 薦 書	本校所定の用紙に、出願者が作成したもの。
入 学 検 定 料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最 寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金 による検定料の受付はできませんので注意してください。） 本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振 込をしてください。 *別紙の「検定料の納入について」を参照してください。
受 検 票 返 信 用 封 筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84 円切手を貼付 したもの。（自宅外の者は〇〇方を記入すること。）また、 速達を希望する場合には、374 円切手を貼付したもの。 ただし、願書を持参した場合には不要。封筒は、長形3号 封筒とする。（120 mm×235 mm）
あ て 名 票	本校所定の用紙に、合格通知書を受ける住所、郵便番号、 氏名等を記入すること。（自宅外の者は〇〇方を記入する こと。）
そ の 他	外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出すること。

＊ 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑥ 本校以外から出願する者は、あらかじめ確認が必要です。令和2年9月18日(金)までに本校学生課に相談してください。

(3) 身体に障害のある入学志願者との事前相談

受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本校への相談が必要です。令和2年9月18日(金)までに本校学生課に相談してください。

3 選 抜 の 方 法

ＡＯによる選抜検査は、自己推薦書、調査書（TOEIC、又は英検、又は工業英検の成績を含む。）及びプレゼンテーション（発表10分、質疑応答10分）により行う。パワーポイントを用いる場合は、持参したコンピュータを使用してください。プロジェクター（D-Sub 15 ピンコネクタ）は本校が用意します。

- (1) 日 時 令和2年10月17日(土)
受 付 12:50～13:00
面 接 13:30～
- (2) 場 所 阿南工業高等専門学校
＊「受検票」を必ず携行すること

4 合 格 者 の 発 表

令和2年10月22日(木)午前10時、本校に掲示するとともにホームページにも掲載する。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとする。また、合格者には「合格通知書」を発送する。

なお、電話による可否の問い合わせには一切応じない。

5 入 学 確 約 書 の 提 出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和2年11月4日(水)までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出すること。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱う。

VII そ の 他

1 検定料の返還について

納付された検定料については次の場合を除き返還請求できません。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

2 入試情報の開示について

情報公開法の施行に基づき、学力による選抜について、請求があれば開示します。

なお、開示方法は本校の本科（創造技術工学科）の入学試験に準じて行いますが、個人情報や入試の適正な実施に著しく支障が生じる情報等、開示できない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

3 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

4 入 学 手 続

合格者には、令和3年2月下旬頃別途通知する。

5 連 絡 先

募集要項に関して不明な点は、下記まで照会すること。

阿南工業高等専門学校 学生課

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265番地

T E L (0884) 23 - 7130

F A X (0884) 22 - 4232

入 学 案 内

1 設 置 目 的

高専の科学の知識と技術をさらに深めたい学生のため、より高度な技術者教育を行うことを目的として、2年間の教育課程である専攻科があります。阿南高専には平成8年4月に専攻科が設置されました。

2 専攻科のアドミッション・ポリシー

専攻科は、専門分野における確固たる知識を基盤に、幅広い工学分野において、その知識を創造的かつ実践的に活用できる可能性をもつエンジニアの育成をめざします。そのために必要な、次のような素養を持つ人物を求めています。

- (a) 国際人としての教養
- (b) 社会・自然への責任感と倫理観
- (c) 知識・技能を身に付け、問題を発見・解決する能力
- (d) 幅広いコミュニケーション能力
- (e) 主体性を持って多様な人々と協働して学習する能力
- (f) 「ものづくり」につながる創造的思考力

3 入 学 定 員

創造技術システム工学専攻 16名

機械システムコース

電気電子情報コース

建設システムコース

応用化学コース

4 学 習 ・ 教 育 到 達 目 標

現在の産業界では、今日の問題である環境問題に対する知識・技術者特有の倫理的思考及び国際的な視野に基づいた見識を有したうえで、工学の多岐にわたる分野の知識と技術とを用いて、工学の融合複合分野において独創的な技術開発を進めることのできる技術者が求められていることから、国際化に対応できる技術者を育成します。

機械・電気電子・情報・建設・化学等のあらゆる工学を対象として、それらの分野に関連する専門技術や工学一般の知識を広く学び、その知識の定着をめざします。そのうえで、自己の特異分野を核としてもち、学んだ専門技術や工学知識をシステムとして幅広く有機的に活用できる方法論・実践力を養成する教育を行います。したがって、本校がめざす自立した技術者像は以下のようになります。

「核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者」

このような技術者の育成をめざして、以下の項目を本校の学習・教育到達目標とします。

- (A) 国際人としての教養を身につけ、人間社会や自然環境に対して責任感及び倫理観をもつ技術者
 - (A)－1 世界的視野から日本の文化、社会並びに他国の文化、社会を複眼的にとらえて、両者のあるべき関係について説明できる。
 - (A)－2 人間社会に対する技術者としての責任を自覚し、自己の倫理観を説明できる。
 - (A)－3 自然環境を考慮した技術開発を進めるための問題点を説明できる。
- (B) 社会が要求している問題を見出し、数学・自然科学・情報技術を利用しながら問題解決を計画的に遂行できる技術者
 - (B)－1 インターンシップ、工学セミナーなどを通じて社会が要求している問題を見出せる。
 - (B)－2 線形代数、解析学などに関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
 - (B)－3 力学、電磁気学・熱力学などの物理や化学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
 - (B)－4 情報技術に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (C) 日本語で論理的に記述・討論ができ、専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ、表現力豊かに口頭発表ができる技術者
 - (C)－1 日本語で科学技術論文を作成できる。
 - (C)－2 自分の研究成果を日本語で聴講者にわかりやすく口頭発表でき、論理的な討論ができる。
 - (C)－3 英語によるコミュニケーションができ、専門分野において英語による口頭発表ができる。
- (D) 継続して専門技術や知識を学習する習慣^(D1)を身につけ、複合的な技術開発を進められる能力^(D2)をもった技術者
 - (D)－1 設計・システム系、情報・論理系、材料・バイオ系、力学系を含む工学の基礎となる幅広い学問分野について、自主的かつ継続的に学習できる。
 - (D)－2 専門分野における工学的問題の解決を通じて、その専門技術と知識の統合及び研鑽を継続的に積み上げられる。
 - (D)－3 他の専門分野の知識も身につけ、複合的な視野で問題点を把握できる。
 - (D)－4 技術開発を進めるに際して、安全、環境について配慮すべき事柄を認識し、説明できる。
- (E) 「ものづくり」を重視^(E1)し、技術的構想や創造的思考を実現させるためのデザイン能力^(E2)を有する技術者
 - (E)－1 自ら設定した製作課題をデザイン能力を活かして設計図等として表現できる。
 - (E)－2 自ら設定した製作課題を計画的に製作できる。
 - (E)－3 工学知識や技術を統合し、技術者構想や創造的思考を特別研究としてまとめられる。

5 各コースの内容

☆機械システムコース

機械システム工学は、ものをつくる技術とそのための原理や機構，方法論を研究対象とし，現代社会の「ものづくり」の基盤を支える学問分野です。機械システムコースでは，材料，力学，加工，設計の知識を身につけ，実験や演習を通して実践的な応用力を培うことにより，機械，電機，エネルギーをはじめとする様々な産業分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆電気電子情報コース

電気電子工学及び情報工学は，現代社会を支えつつ発展させていくための基盤となる学問です。電気電子情報コースではこの両分野を統合したカリキュラムに基づいて教育・研究を行うため，本科において各々の分野の基礎を身に付けた学生が一緒に学び，お互いに知識・能力を高め合い，両分野の専門基礎力を幅広く身につけることができます。さらに電気回路やデジタル回路，ロボット制御，計測，プログラミングなどの実験や演習を通して実践的な応用力を培うことにより，エレクトロニクス，電子デバイス，ソフトウェアをはじめとする様々な産業分野において幅広く活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆建設システムコース

建設システム工学は，社会基盤の構築，整備や防災，減災など人々が安全に安心して暮らせる街づくりを支える学問です。建設システムコースでは，建設工学分野の基礎的知識とともに，都市・交通計画，環境，防災など幅広い分野の知識を身につけ，実験や実習を通して実践的な応用力を培うことにより，官公庁，建設，環境，インフラストラクチャーをはじめとする社会基盤の整備に関わる様々な分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆応用化学コース

応用化学は，人間の生活を豊かにする新しい物質とその循環についての研究・開発をするための基盤となる学問です。応用化学コースでは，工学系化学分野における有機・無機化学材料，化学工学，環境化学，物理化学の知見を身につけ，実験や演習を通して実践的な応用力を培うことに重点を置いています。また，21世紀に工学系化学技術者として活躍できるよう，物性化学，有機合成化学などのモダン化を推進したカリキュラム編成を行っており，材料開発，化学プラントをはじめとする様々な化学産業の分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

6 教 育 課 程

(1) 共 通

区 分		授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考	
一 般 科 目	必修科目	英語コミュニケーション	2	2			
		英 語 講 読	2		2		
		技 術 者 倫 理	2	2			
		比 較 文 化 論	2		2		
		小 計	8	4	4		
	選択科目	言 語 と 文 学	2		2		
		生 物 科 学	2	2			
		小 計	4	2	2		
	合 計		12	6	6		
専 門 共 通 科 目	必修科目	創 造 設 計 工 学 演 習 (副 専 攻 演 習)	2	2		学修総まとめ科目	
		安 全 衛 生 工 学	2	2			
		環 境 政 策 論	2	2			
		創造技術システム工学特別研究 1	4	4			
		創 造 工 学 セ ミ ナ ー	1		1		
		創造技術システム工学特別研究 2	10		10		
		創 造 工 学 演 習	2		2		
		小 計	23	10	13		
	共通科目	選択科目	線 形 代 数 学	2	2		
			統 計 熱 力 学	2	2		
			解 析 学	2	2		
			環 境 工 学 特 論	2	2		
			イ ン タ ー ン シ ッ プ 1	3	3		インターンシップ1から インターンシップ4までの いずれか1科目を修得 すること
			イ ン タ ー ン シ ッ プ 2	6	6		
			イ ン タ ー ン シ ッ プ 3	9	9		
			イ ン タ ー ン シ ッ プ 4	12	12		
			物 理 学 特 論	2		2	
			応 用 解 析 学	2		2	
			生 産 シ ス テ ム 工 学	2		2	
			小 計	26	20	6	
		合 計		49	30	19	合計は履修可能単位数を示す
一 般 ・ 専 門 共 通 科 目 合 計			61	36	25	合計は履修可能単位数を示す	

(2) 機械システムコース

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	流 体 の 力 学	2	2		
	材 料 強 度 学	2		2	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 実 験	2		2	
	小 計	6	2	4	
選択科目	情 報 処 理 演 習	1	1		
	機 器 分 析	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	応 用 地 盤 工 学	2	2		
	シ ー ケ ン ス 制 御	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	エ ネ ル ギ ー 工 学	2		2	
	小 計	23	13	10	
合 計		29	15	14	

(3) 電気電子情報コース

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	情 報 処 理 演 習	1	1		
	電 子 デ バ イ ス 工 学	2	2		
	シ ー ケ ン ス 制 御	2	2		
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	電 気 電 子 情 報 工 学 実 験	2		2	
	小 計	9	5	4	
選択科目	機 器 分 析	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流 体 の 力 学	2	2		
	電 気 回 路 解 析	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	半 導 体 物 性	2		2	
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	エ ネ ル ギ ー 工 学	2		2	
	現 代 制 御 工 学	2		2	
	電 子 計 測 工 学	2		2	
	小 計	24	12	12	
合 計		33	17	16	

(4) 建設システムコース

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	応 用 地 盤 工 学	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	建 設 シ ス テ ム 工 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	情 報 処 理 演 習	1	1		
	機 器 分 析	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流 体 の 力 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	材 料 強 度 学	2		2	
	都 市 環 境 工 学	2		2	
	環 境 生 物 工 学	2		2	
	エ ネ ル ギ ー 工 学	2		2	
	小 計	23	9	14	
合 計		31	13	18	

(5) 応用化学コース

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	機 器 分 析	2	2		
	有 機 合 成 化 学	2	2		
	物 性 化 学	2		2	
	応 用 化 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	材 料 加 工 学	2	2		
	電 子 デ バ イ ス 工 学	2	2		
	情 報 処 理 演 習	1	1		
	シミュレーション工学	2	2		
	無 機 化 学 特 論	2	2		
	電 気 回 路 解 析	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	材 料 強 度 学	2		2	
	半 導 体 物 性	2		2	
	環 境 生 物 工 学	2		2	
	エ ネ ル ギ ー 工 学	2		2	
	電 子 計 測 工 学	2		2	
	小 計	27	11	16	
合 計		35	15	20	

7 修業年限及び修了要件等

(1) 修業年限 2年

ただし、職業を有している等の事情により、2年を超えて計画的に教育課程を履修し、修了することを認められた者にあっては別に定める年限。

(2) 修了要件

「創造技術システム工学」教育プログラム修了要件（22 ページを参照）の要件 1～3, 5～9 を全て満たし、かつ、学位取得に係る学修総まとめ科目履修計画書又は学修成果（レポート）を独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以下「学位授与機構」という。）に提出していること。学修総まとめ科目とは、専攻の2年生に配当された特別研究である（以下同じ。）。

(3) 学士の学位の取得方法

学士の学位は、本校の専攻科を修了見込みで、特例適用申請により学修総まとめ科目の履修計画書と成果の要旨を大学改革支援・学位授与機構に提出すれば修了時に学士の学位が授与されます。また、特例が適用されない場合は、学修成果レポートの審査と小論文試験に合格することで学士の学位が授与されます。なお、学士の学位の授与を申請するときは学位審査料が必要です。

(4) 他の高等教育機関において修得した単位の認定（以下「単位認定」という。）

本校以外の出身者で本校専攻科に入学した場合、本校専攻科入学前の出身校において修得した単位については、本人の申請に基づき、次の①～③に示す基準に沿って本校 JABEE 委員会が実施する単位認定審査の上、「創造技術システム工学」教育プログラムの修得単位とみなすことができます。

① 単位認定の対象となる科目

単位認定の申請が可能な科目は、出身校において修得した科目のうち、本校の本科4, 5年次に相当する学年において修得した科目とします。また、認定を受けようとする科目は、「創造技術システム工学」教育プログラム上の科目（ただし本校専攻科で開講している科目は除く。）とします。

② 出身校が JABEE 認定校である場合

修得した科目に対し、出身校のシラバスのコピーを提出し、それに基づいて下記判定を行います。

- ・ 修得科目を本校教育プログラムが規定した表2に掲げられた科目群の定義に従って分類し、分類された科目群の単位として出身校の単位をそのまま認定します。
- ・ 修得科目の学習・教育目標における獲得ポイントを本校教育プログラムが規定した表2に掲げられた学習・教育目標と JABEE 科目との関係の定義に従って算定し、その点数をそのまま認定します。

③ 出身校が JABEE 認定校以外の場合

修得した科目に対し、出身校のシラバスのコピーを提出し、それに基づいて下記判定を行います。

- ・ 本校教育プログラムが要求する教育目標とレベルを満足しているかどうかの観点から、出身校のシラバスに基づいて修得科目の適格性を判定します。
- ・ 適格と判定された修得科目を本校教育プログラムが規定した表2に掲げられた科目群の定義に従って分類し、分類された科目群の単位としてそのまま認定します。

- ・ 適格と判定された修得科目の学習・教育目標における獲得ポイントを本校教育プログラムが規定した表2に掲げられた学習・教育目標とJABEE科目との関係の定義に従って算定し、その点数をそのまま認定します。

8 入学当初に必要な諸経費（前年度実績）

- (1) 入 学 料 84,600 円
- (2) 授 業 料 117,300 円（前期分）
 - * 授業料については、年額 234,600 円を納入する。後期分は、令和3年10月1日～令和3年10月31日までに納入する。ただし、希望により一括（年額）納入することができる。
 - * 在学中に授業料が改定された場合は、改定後の額となる。
- (3) 学生会入会金 （本校出身者は免除）2,000 円
- (4) 学 生 会 費 2,500 円（前期分、後期分は 3,000 円）
- (5) 教科書購入費 令和3年3月上旬に使用教科書等が決定次第通知する。
- (6) 後援会入会金 （本校出身者は免除）10,000 円
- (7) 後 援 会 費 6,000 円（前期分、後期分は 6,000 円）

9 入学料・授業料免除

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡、または、風水害等の被害を受けたり、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には選考の上、入学料の全額もしくは半額を免除する制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認めた者、または、風水害等の被害を受け、授業料の納付が困難と認められる者には選考の上、授業料の全額もしくは半額を免除する制度があります。

10 奨 学 金 制 度

日本学生支援機構の規程に基づき、学業・人物とも優れ、健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

また、地方公共団体、各種奨学会の行う奨学制度もあります。

11 学 生 寮（前年度実績）

学生寮に空室ができた場合、希望者は、選考の上、学生寮に入寮できます。

* 経費（月額）は、約 35,000 円程度（寄宿料、食費、光熱水料費等）です。

「創造技術システム工学」教育プログラム修了要件

阿南高専では、「核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者」の育成をめざして、「創造技術システム工学」プログラムを設定し、日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受けました。そして、国際的水準に合致する技術者教育プログラムとして認定されています。

専攻科に入学すると、全員が「創造技術システム工学」教育プログラムの履修対象学生となり、修了者となるためには、次の修了要件を全て満たす必要があります。

要件1 全ての必修科目の単位を修得していること。

要件2 学則第36条第1項に規定（62単位以上）するほか、一般科目については8単位以上、専門共通科目についてはインターンシップを除いて30単位以上、各コースの科目については12単位以上を修得していること。

要件3 学位取得のための次の基準を満たしていること。学位取得のために大学改革支援・学位授与機構に申請する各専攻区分の専門科目（以下この要件において同じ。）及び関連科目は、別に定める。

- ・専門科目（学修総まとめ科目を含む。）を31単位以上修得していること。
- ・専門科目（学修総まとめ科目を含めない。）及び関連科目で40単位以上を修得していること。

要件4 学位（学士）を取得していること。

要件5 JABEE科目において124単位以上を修得していること。

要件6 JABEE科目のうち、次の各科目群から1科目以上、合計6科目以上の単位を修得していること。

- ・設計・システム系科目群
- ・情報・論理系科目群
- ・材料・バイオ系科目群
- ・力学系科目群
- ・社会技術系科目群

要件7 本校教育プログラムで規定した学習・教育到達目標とJABEE科目との関係（配点ポイント数を含む。）について、学習・教育到達目標（D1）、（D2）、（E1）、（E2）における獲得ポイントが、それぞれ20ポイント以上であること。

要件8 特別研究内容に関連する学外の学会等において研究成果を発表していること。

要件9 全ての学習・教育到達目標について、その目標が達成できていること。

表2 科目群と教育プログラム修了要件との関連 (2020年度)

本 科 M:機械コース E:電気コース I:情報コース C:建設コース Z:化学コース
専攻科 AM:機械システムコース AE:電気電子情報コース AC:建設システムコース AZ:応用化学コース

	群	科目 コード	科 目 名	単位数	開講コース 専攻	学年	専攻科 必修 科目	分野(融合複合新領域)と JABEE修了要件	本校教育到達目標と科目との関係 ◎密接に関連する ○やや関係する					
									(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	
人文科学、 社会科学等 (語学教育を 含む。)	Ⅰ群	5116A01	英語コミュニケーション	2	専攻科全	1	○		○	○	◎	○		
		5116B01	技術者倫理	2	専攻科全	1	○		◎		○		○	
		5117A02	英語読解	2	専攻科全	2	○		◎					
		5117B02	比較文化論	2	専攻科全	2	○		◎					
		5197A03	言語と文学	2	専攻科全	2			◎					
		1114H41	英語総合1	2	本科学	4			◎					
		1194611	法学	2	本科学	4			◎					
		1194601	哲学	2	本科学	4			◎		○			
		1194201	英語の語彙・文法	2	本科学	4			◎					
		1195211	英語総合2	2	本科学	5			◎					
		1195501	日本語の表現	2	本科学	5			◎					
		1195301	第二外国語入門	1	本科学	5			◎					
数学、 自然科学、 情報技術	Ⅱ群	5996F01	線形代数	2	専攻科全	1			◎	◎	◎	○		
		5996F02	統計熱力学	2	専攻科全	1			◎		◎	○		
		5996F03	解析学	2	専攻科全	1			◎		◎	○		
		5997F05	物理学特論	2	専攻科全	2			◎		◎	○		
		5997F06	応用解析学	2	専攻科全	2			◎		◎	○		
		1194401	応用化学	1	本科学	4			◎		◎			
		1514A01	確率統計	2	本科学	4			◎		◎			
		1514B01	工業力学	2	本科学	4			◎		◎			
		1554100	電磁気学	2	本科学	4			◎		◎			
		1314H11	プログラミング実習	1	本科学	4			◎		◎		○	
		1795301	離散数学	2	本科学	5			◎		◎			
		1554100	電磁気学	2	本科学	4			◎		◎			
1514B01		工業力学	2	本科学	4		◎			◎				
1554100		電磁気学	2	本科学	4		◎			◎				
(1)基礎工学の知識・能力														
専門分野	Ⅲ群	5916T01	創造設計工学演習(副専攻演習)	2	専攻科全	1	○	① 設計・システム系科目 目群	◎	◎	○	◎		
		5997F07	生産システム工学	2	専攻科全	2					◎	○		○
		1214A01	機械設計製図2	2	本科学	4					◎	○		○
		1214A11	機械設計製図3	2	本科学	4					◎	○		○
		1214H01	計測工学	2	本科学	4					◎	○		
		1215H01	自動制御	2	本科学	5					◎	○		○
		1314A01	電気回路論3	2	本科学	4					◎	○		○
		1314G01	制御工学1	2	本科学	4					◎	○		○
		1314Q11	電子回路設計製作実習	2	本科学	4					◎	○		○
		1315G01	制御工学2	2	本科学	5					◎	○		○
		1714D01	システム設計1	2	本科学	4					◎	○		○
		1714D02	システム設計2	2	本科学	4					◎	○		○
		1814J01	構造設計製図	1	本科学	4					◎	○		○
		1815J01	構造設計製図	1	本科学	5					◎	○		○
		1414D01	物理化学1	2	本科学	4					◎	○		
		1414D02	物理化学2	2	本科学	4					◎	○		
		1494101	有機材料科学	2	本科学	4					◎	○		○
		1415D01	物理化学3	2	本科学	5					◎	○		○
		1495803	固体物理	2	本科学	5					◎	○		○
	Ⅳ群	※	情報処理演習	1	専攻科全	1	AE		◎	◎	○	○		
		※	信号処理工学	2	専攻科全	2			◎	○		○		
		※	電気情報数学	2	専攻科全	2	AE		◎	○		○		
		※	機器分析	2	専攻科全	1	AZ		◎	○			○	
		1214G01	情報処理1	2	本科学	4		◎	◎	○				
		1294301	メカトロニクス	2	本科学	4			◎	○				
		1295801	情報処理2	2	本科学	5		◎	◎	○				
		1395301	通信工学理論	2	本科学	5			◎	○		○		
		1794401	ディジタル信号処理	2	本科学	4			◎	○		○		
		1794201	ディジタル回路1	2	本科学	4			◎	○		○		
		1714G01	情報数学	2	本科学	4		◎		◎				
		1714C01	計算機工学	2	本科学	4			◎	○		○		
1795201	ディジタル回路2	2	本科学	5			◎	○		○				
1795401	コンパイラ	2	本科学	5			◎	○		○				
181402	プログラミング2	1	本科学	4			◎	○						
1414C01	分析化学	2	本科学	4			◎	○						
1494001	基礎プログラミング	2	本科学	4			◎	○						
Ⅴ群	5196B03	生物科学	2	専攻科全	1			◎	◎	○	○			
	※	材料加工学	2	専攻科全	1			◎	◎	○	○			
	5297C04	複合材料学	2	専攻科AM	2			◎	◎	○	○		○	
	5217M02	材料強度学	2	専攻科AM	2	○		◎	◎	○				
	5397E04	半導体物性	2	専攻科AE	2			◎	◎	○				
	5497C04	複合材料学	2	専攻科AG	2			◎	◎	○		○		
	5497M02	材料強度学	2	専攻科AG	2			◎	◎	○				
	5516Z02	有機合成化学	2	専攻科AZ	1	○		◎	◎	○	◎		○	
	5597C04	複合材料学	2	専攻科AZ	2			◎	◎	○				
	5597M02	材料強度学	2	専攻科AZ	2			◎	◎	○				
	5597E04	半導体物性	2	専攻科AZ	2			◎	◎	○				
	1295601	材料選択の科学	2	本科学	5			◎	◎	○				
	1295501	塑性加工工学	2	本科学	5			◎	◎	○	○			
	1314D01	電気電子材料	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1314D11	半導体電子工学	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1814B01	材料科学1	1	本科学	4			◎	◎	○				
	1814B02	材料科学2	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1495201	無機材料学	2	本科学	5			◎	◎	○	○			
	1495102	高分子機能材料科学	2	本科学	5			◎	◎	○			◎	
	1495802	半導体工学	2	本科学	5			◎	◎	○		○		
Ⅵ群	※	シミュレーション工学	2	専攻科全	1			◎		◎				
	5216M01	流体の力学	2	専攻科AM	1	○		◎	◎	○				
	5297C03	応用構造力学	2	専攻科AM	2			◎	◎	○		○		
	5396M01	流体の力学	2	専攻科AE	1			◎	◎	○				
	5397C03	応用構造力学	2	専攻科AE	2			◎	◎	○		○		
	5496M01	流体の力学	2	専攻科AC	1			◎	◎	○				
	5417C03	応用構造力学	2	専攻科AC	2	○		◎	◎	○		○		
	1214C01	機械力学2	2	本科学	4		○	◎	◎	○				
	1214C03	材料力学2	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1214D01	水力学1	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1214D11	水力学2	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1214D03	熱力学1	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1214D13	熱力学2	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1214C13	材料力学3	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1295401	流体力学	2	本科学	5			◎	◎	○				
	1554000	熱力学	2	本科学	4		○	◎	◎	○				
	1514B01	工業力学	2	本科学	4		○	◎	◎	○				
	1514B01	工業力学	2	本科学	4		○	◎	◎	○				
	1554000	熱力学	2	本科学	4		○	◎	◎	○				
	1714G02	数値計算	2	本科学	4		◎		◎					
	1514B01	工業力学	2	本科学	4		◎		◎		○			
	1814D01	地盤工学	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1814C01	建設構造力学2	2	本科学	4		◎		◎	○				
	1815B01	コンクリート構造学	2	本科学	5			◎	◎	○				
	1815C01	建設構造力学3	1	本科学	5		◎		◎	○				
	1414D03	電気化学	2	本科学	4			◎	◎	○		○		
	1414T09	化学工学2	2	本科学	4			◎	◎	○				
	1495501	化学工学3	2	本科学	4			◎	◎	○	○		○	

①～⑤の各系から少なくとも1科目、合計6科目以上

	群	科目 コード	科目名	単位数	開講コース 専攻	学年	必修	分野(融合複合新領域)と JABEE修了要件	(A)	(B)	(C)	(D1)	(D2)	(E1)	(E2)	
専門分野	Ⅶ群	5916F01	安全衛生工学	2	専攻科全	1	○	⑤社会技術系科目群	も①①⑤の 各系から 少なくとも 1科目以上	◎		◎	◎	◎		
		5916F02	環境政策論	2	専攻科全	1	○					◎	◎			
		5996F04	環境工学特論	2	専攻科全	1				◎		◎	◎			
		5497C05	都市環境工学	2	専攻科AC	2				◎	◎	◎	◎			
		5497C06	環境生物工学	2	専攻科AC	2				◎		◎	◎		◎	
		5597C06	環境生物工学	2	専攻科AZ	2				◎		◎	◎		◎	
		1295701	環境工学	2	本科M	5				◎		◎	◎			
		1494603	環境工学1	2	本科Z	4				◎	◎	◎	◎			
		1495603	環境工学2	2	本科Z	5				◎		◎	◎		◎	
		(2)専門工学の知識・能力														
	Ⅷ群	※	エネルギー工学	2	専攻科全	2		(1) 専門工学の知識と能力		◎		◎	◎	◎	◎	◎
		5296I02	シーケンス制御	2	専攻科AM	1						◎	◎	◎	◎	
		5296C01	応用地盤工学	2	専攻科AM	1						◎	◎	◎	◎	
		5296C02	防災工学	2	専攻科AM	1				◎		◎	◎	◎	◎	
		5397I04	現代制御工学	2	専攻科AE	2						◎	◎		◎	
		5316I02	シーケンス制御	2	専攻科AE	1	○			◎		◎	◎	◎	◎	
		5396C02	防災工学	2	専攻科AE	1				◎		◎	◎	◎	◎	
		5396E03	電気回路解析	2	専攻科AE	1						◎	◎	◎	◎	
		5316E01	電子デバイス工学	2	専攻科AE	1	○					◎	◎	◎	◎	
		5397E05	電子計測工学	2	専攻科AE	2						◎	◎	◎	◎	
		5416C01	応用地盤工学	2	専攻科AC	1	○					◎	◎	◎	◎	
		5416C02	防災工学	2	専攻科AC	1	○			◎		◎	◎	◎	◎	
		5517Z03	物性化学	2	専攻科AZ	2	○					◎	◎	◎	◎	
		5596Z04	無機化学特論	2	専攻科AZ	1						◎	◎	◎	◎	
		5596E01	電子デバイス工学	2	専攻科AZ	1						◎	◎	◎	◎	
		5596E03	電気回路解析	2	専攻科AZ	1						◎	◎	◎	◎	
		5597E05	電子計測工学	2	専攻科AZ	2						◎	◎	◎	◎	
		1294201	機械工学ゼミナール	1	本科M	4						◎	◎	◎	◎	
		1215D03	伝熱工学	2	本科M	5						◎	◎	◎	◎	
		1314B01	電気磁気学3	2	本科E	4				◎		◎	◎	◎	◎	
		1314C01	電子回路	2	本科E	4						◎	◎	◎	◎	
		1314E01	電気機器工学2	2	本科E	4						◎	◎	◎	◎	
		1394201	電子回路論	1	本科E	4						◎	◎	◎	◎	
		1394301	電磁波工学	2	本科E	4						◎	◎	◎	◎	
		1394311	無線工学	2	本科E	4						◎	◎	◎	◎	
		1315D11	半導体デバイス	2	本科E	5						◎	◎	◎	◎	
		1315E01	パワーエレクトロニクス	1	本科E	5						◎	◎	◎	◎	
		1714F03	情報通信ネットワーク	2	本科I	4						◎	◎	◎	◎	
		1714F02	応用プログラミング実習	2	本科I	4						◎	◎	◎	◎	
		1714E01	オペレーティングシステム	2	本科I	4						◎	◎	◎	◎	
		1794402	情報理論	2	本科I	4						◎	◎	◎	◎	
		1794301	文献講読	2	本科I	4						◎	◎	◎	◎	
		1795402	言語処理	2	本科I	5						◎	◎	◎	◎	
		1795403	メディア情報処理	2	本科I	5						◎	◎	◎	◎	
		1814F01	環境工学1	2	本科C	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1814E01	水工学	2	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1814C02	構造工学1	2	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1814C03	構造工学2	2	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1814G01	都市計画	2	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1815H01	施工管理	2	本科C	5						◎	◎	◎	◎	
		1815F01	環境工学2	2	本科C	5						◎	◎	◎	◎	
		1815C03	構造工学3	2	本科C	5						◎	◎	◎	◎	
		1414G01	生化学	2	本科Z	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1495804	量子化学	2	本科Z	5						◎	◎	◎	◎	
	Ⅸ群	5217J01	機械システム工学実験	2	専攻科AM	2	○	(2) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力				◎	◎	◎	◎	◎
		5317J01	電気電子情報工学実験	2	専攻科AE	2	○					◎	◎	◎	◎	
		5417J01	建設システム工学実験	2	専攻科AC	2	○					◎	◎	◎	◎	
		5517J01	応用化学実験	2	専攻科AZ	2	○				◎	◎	◎	◎	◎	
		1214T01	機械工学実験1	3	本科M	4						◎	◎	◎	◎	
		1215T01	機械工学実験2	2	本科M	5						◎	◎	◎	◎	
		1314Q01	電気電子工学実験3	3	本科E	4				◎		◎	◎	◎	◎	
		1315Q01	電気電子工学実験4	3	本科E	5				◎		◎	◎	◎	◎	
		1315S11	創造工学実習	2	本科E	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1714F01	応用プログラミング	2	本科I	4				◎		◎	◎	◎	◎	
		1795501	組み込みシステム応用実習	2	本科I	5						◎	◎	◎	◎	
		1795404	システム創造実習	4	本科I	5						◎	◎	◎	◎	
		1814T03	水理実験	1	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1814T01	構造材料実験	1	本科C	4				◎		◎	◎	◎	◎	
		1814T02	土質実験	1	本科C	4						◎	◎	◎	◎	
		1815T01	環境実験	1	本科C	5				◎		◎	◎	◎	◎	
		1414T05	生物実験	2	本科Z	4						◎	◎	◎	◎	
		1414T06	物質化学実験	2	本科Z	4					◎	◎	◎	◎	◎	
	Ⅹ群	5917T01	創造工学セミナー	1	専攻科全	2	○	(3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し組み立て、解決する能力		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5916G01	創造技術システム工学特別研究 1	4	専攻科全	1	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		5917G01	創造技術システム工学特別研究 2	10	専攻科全	2	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1215000	卒業研究	10	本科M	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1315000	卒業研究	10	本科E	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1794302	創造工学ゼミナール	2	本科I	4					◎	◎	◎	◎	◎	
		1715000	卒業研究	10	本科I	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1815000	卒業研究	10	本科C	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1415000	卒業研究	10	本科Z	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		5917T02	創造工学演習	2	専攻科全	2	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	Ⅺ群	5996K01	インターンシップ1(注1)	3	専攻科全	1		(4) (工学)技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5996K02	インターンシップ2(注1)	6	専攻科全	1				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		5996K03	インターンシップ3(注1)	9	専攻科全	1				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		5996K04	インターンシップ4(注1)	12	専攻科全	1				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514T01	共同教育	1	本科全	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514R01	校外実習(インターンシップ)	1	本科M	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514R01	校外実習	1	本科E	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514R01	校外実習	1	本科I	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514R01	校外実習	1	本科C	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1514R01	校外実習	1	本科Z	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1494909	創造ゼミナール	2	本科Z	4				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		1494900	無機化学演習	1	本科Z	4					◎	◎	◎	◎	◎	
		1494901	有機化学演習	1	本科Z	4					◎	◎	◎	◎	◎	
		1495900	化学工学演習	1	本科Z	5					◎	◎	◎	◎	◎	
		1495901	物理化学演習	1	本科Z	5				◎	◎	◎	◎	◎	◎	

注1: インターンシップ1～4のいずれかを修得

注2: 科目コード欄「※」書きは、各コースで科目コードが異なることを示す

※獲得ポイント: ◎印は3ポイント、○印は1ポイント

令和3年度 阿南工業高等専門学校
専攻科入学願書

推薦・AOによる選抜用

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受検 番号	※
志	ふりがな				平成 年 月 日 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現 住 所				
	郵便番号	〒	—	電話番号	— —
願 者	卒業学校	高等専門学校 学科 コース (年 月 卒業・卒業見込)			
		所在地	〒		
	☎ — —				
	学 歴				
	平成 年 月	入学			
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				

記入上の注意

- 1 ※欄は、記入しないこと。その他の欄は、志願者が漏れなく記入すること。
- 2 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）すること。
- 3 学歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
- 4 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入すること。

令和3年度 阿南工業高等専門学校
専攻科入学願書

学力による選抜用

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受検 番号	※
志	ふりがな				平成 年 月 日 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現 住 所				
	郵便番号	〒	—	電話番号	— —
願 者	卒業学校	高等専門学校 学科 コース (年 月 卒業・修了・卒業見込・修了見込)			
		所在地	〒		
	☎ — —				
	学 歴 ・ 卒 業 後 の 職 歴				
	平成 年 月	入学			
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
年 月					

記入上の注意

- ※欄は、記入しないこと。その他の欄は、志願者が漏れなく記入すること。
- 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）すること。
- 学歴・卒業後の職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入すること。

令和3年度 阿南工業高等専門学校
専攻科入学願書

社会人特別選抜用

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受検 番号	※
志 願 者	ふりがな				昭和 年 月 日 平成 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現 住 所				
	郵便番号	〒	—	電話番号	— —
	卒業学校	高等専門学校 学科 (平成 年 月 卒業・修了)			
	所在地	〒			
	☎ — —				
	学 歴 ・ 卒 業 後 の 職 歴				
	昭和・平成	年	月	入学	
		年	月		
		年	月		
		年	月		
		年	月		
勤 務 先	名称（部課まで）				
	所 在 地	〒	☎ — —		

記入上の注意

- ※欄は、記入しないこと。その他の欄は、志願者が漏れなく記入すること。
- 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）すること。
- 学歴・卒業後の職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入すること。

令和 3 年度
阿南工業高等専門学校専攻科
受 検 票

受検 番号	※
志望 コース	創造技術システム工学専攻 コース
ふりがな	
氏名	
生年 月日	昭和 平成 年 月 日

※欄は記入しないこと。

☆選抜検査日時（下記のとおり）

○推薦による選抜

令和 2 年 5 月 9 日(土) 13時30分～
検査当日, 12時30分本校受付場所に集合。

○学力による選抜

令和 2 年 5 月 23日(土) 10時00分～
検査当日, 9時30分本校受付場所に集合。

○社会人特別選抜

令和 2 年 5 月 23日(土) 12時40分～
検査当日, 12時20分本校受付場所に集合。

○AO選抜

令和 2 年10月17日(土) 13時30分～
検査当日, 12時50分本校受付場所に集合。

注 意 事 項

1. 受検票は, 常に携行すること。
2. 本票を忘れたり遺失した場合には,
直ちに入学者選抜検査実施本部（学生
課）に届け出ること。

令和 3 年度
阿南工業高等専門学校専攻科
入学志願者写真票

受検 番号	※
志望 コース	創造技術システム工学専攻 コース
ふりがな	
氏名	
生年 月日	昭和 平成 年 月 日

※欄は記入しないこと。

写真貼付欄
(全面貼付)

上半身, 脱帽, 正
面向きで出願前
3 ヶ月以内に撮
影したもの(縦 4
cm × 横 3 cm)を
この台紙に貼り
付ける。

撮影年月日
令和 年 月 日

令和3年度 阿南工業高等専門学校
専攻科調査書

			受検番号	※
ふりがな		国立 公立 私立	学 校 名	
氏 名			学 科 名 コース名	
生 年 月 日	昭和 年 月 日 平成	昭和 年 月 日 平成	入 学 ・ 編 入 学	
性 別	男 ・ 女	年 月 日	卒業見込 ・ 卒業 修了見込 ・ 修了	
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し，当該学校長が作成したものを添付の上厳封すること。（成績の評価は素点で明示してください。）			
卒 業 研 究 題 目				
在 学 中 の 状 況				
上記のとおり相違ないことを証明する。				
令和 年 月 日				
学 校 名				
学校長名				
職印				

※在学中の状況欄には，人物・課外活動・生活態度等を記入してください。
※裏面にも記入してください。

TOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）

試験の種類	1 公開テスト 2 I P テスト ※いずれかに○印を付けてください。
試験日	年 月 日
トータルスコア	点

※ 公開テストにおける「公式認定証」又はI P テストにおける「個人成績表」の写しを添付してください。

英検（実用英語技能検定）

準2級 2級 準1級 1級
※いずれかに○印を付けてください。
年度 回 合格

※ 「合格証明書」の写しを添付してください。
推薦及びAOによる選抜は，2級以上のものを添付してください。

工業英検（工業英語技能検定）

3級 準2級 2級 1級
※いずれかに○印を付けてください。
年度 回 合格

※ 「合格証明書」の写しを添付してください。
推薦及びAOによる選抜のみ。

推薦による選抜用

受検番号

※

推薦書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長名

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優れており、専攻科創造技術システム工学専攻
_____コースへの推薦入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

記

氏 名		生年月日	平成 年 月 日
学 業 成 績 に 対 す る 適 性			
人 物			
特 記 事 項			

社会人特別選抜用

受検番号

※

推薦書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

企業等名

所属長職・氏名

印

下記の者は、勤務成績、人物ともに優れており、貴校専攻科創造技術システム工学専攻
_____コースへの推薦入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

記

氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
勤務態度						
対志望コースに 対する適性						
人物						
その他						

AOによる選抜用

受検番号 ※

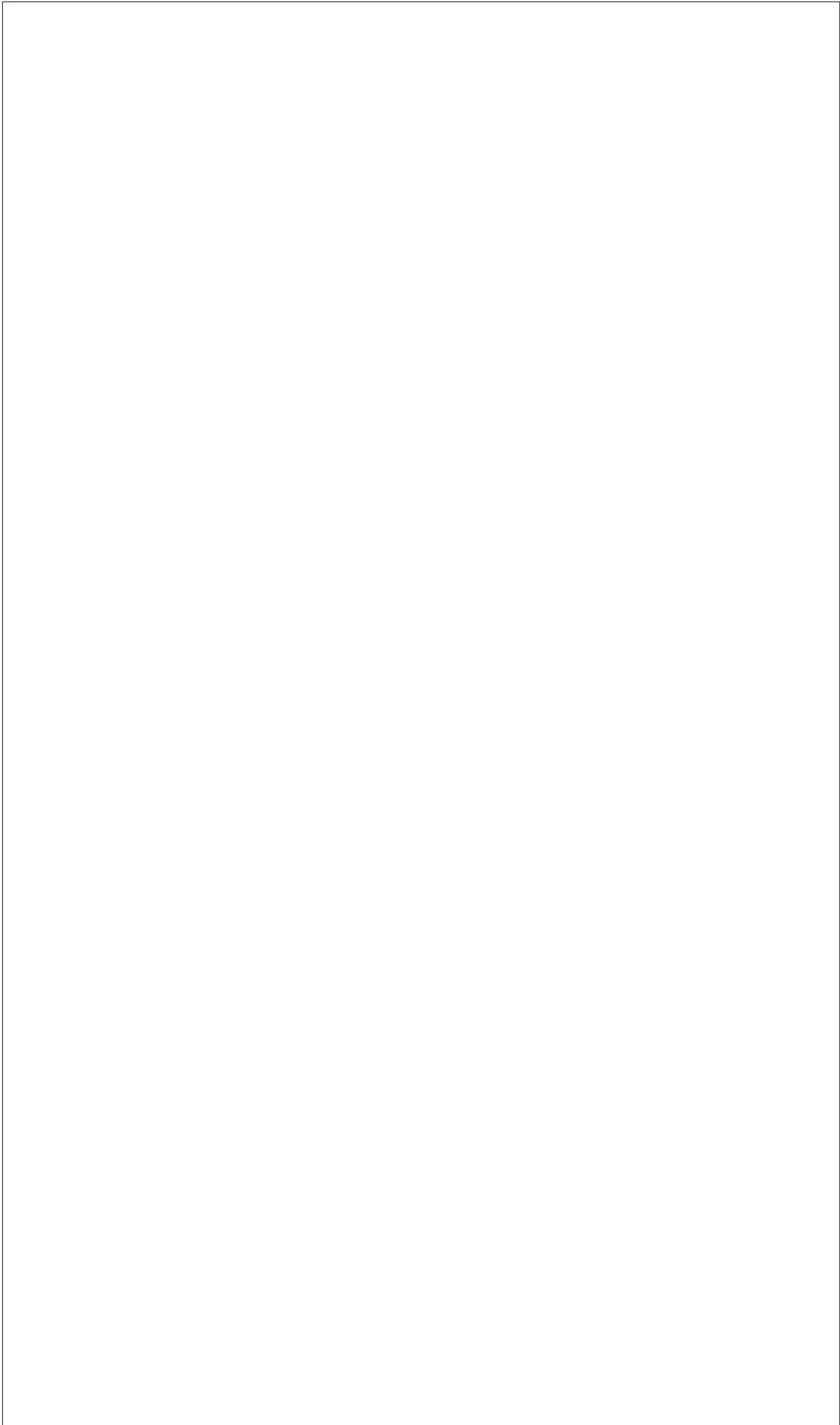
自 己 推 薦 書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

氏 名		志望コース名	創造技術システム工学専攻 コース
次の(1)(2)(3)について各300字程度で述べよ。 (1) 卒業研究として取り組んでいる研究内容や今まで履修してきた科目で興味を持って学習してきたこと。 (2) 入学後専攻科において取り組みたい・挑戦してみたい課題 (3) 専攻科修了後の進路について			

【裏に続く】



志 願 者 用

受検番号

検 定 料 払 込 証 明 書

「振込金証明書」添付場所

※のり付けすること

あ て 名 票

○このあて名票は、合格通知書等を郵送する際に使用しますので、郵便番号、住所、氏名を正確に記入してください。

○マンションやアパートの場合は、建物名、棟、号室まで記入してください。

○必ずボールペンで記入してください。

	都道 府県	郡区 市
殿		
※		

	都道 府県	郡区 市
殿		
※		

検 定 料 の 納 入 に つ い て

今回納入していただく「**検定料16,500円**」は、本校指定の下記振込依頼書をご利用の上、金融機関にてお振込みくださるようお願い申し上げます。
 なお、出願の方法により、次のとおりとしてください。

- ①**出願書類を持参される場合**・・・出願書類と振込用紙の「**振込金証明書**」(金融機関領収印の押印されたもの)を持参してください。
 ②**出願書類を郵送される場合**・・・出願書類と振込用紙の「**振込金証明書**」(金融機関領収印の押印されたもの)を同封し、書留郵便としてください。

記

1. 検定料の納入は、金融機関窓口（郵便局取扱は不可）にてお願いします。また、本件についてはA T M（現金自動預払機）による振込みの取扱いはできません。（下の切取線以下を切り離してご使用ください。）
 2. 金融機関の領収印をもって本校の領収証書に代えさせていただきます。
 3. お振込みの際には、別途手数料が必要となります。
 4. **振込人氏名は受検者（学生）名を記入して下さい。**
 5. 本件に関する問い合わせ先は、総務課財務係 まで

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265番地
 阿南工業高等専門学校 総務課財務係 ☎0884-23-7122

切り取り線

領 収 証 書
 阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日					
振込先	徳島大正銀行 阿南支店					
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長					
金 額						
	¥	1	6	5	0	0
手 数 料						
整理番号	0 0 1 0 0					
志望コース	創造技術システム工学専攻					
フリガナ						
氏 名						

上記の金額正に受取りました。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

印 紙

本人控

振込金証明書
 阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日					
振込先	徳島大正銀行 阿南支店					
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長					
金 額						
	¥	1	6	5	0	0
手 数 料						
整理番号	0 0 1 0 0					
志望コース	創造技術システム工学専攻					
フリガナ						
氏 名						

上記の金額正に受取りました。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

提出用

振 込 通 知 書
 阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日					
振込先	徳島大正銀行 阿南支店					
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長					
金 額						
	¥	1	6	5	0	0
手 数 料						
整理番号	0 0 1 0 0					
志望コース	創造技術システム工学専攻					
フリガナ						
氏 名						

上記の通り振込みましたので
 通知申し上げます。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

取扱店→振込先銀行→受取人

振 込 依 頼 書
 阿南工業高等専門学校 検定料
 電信扱

ご 依 頼 日		年 月 日		手 数 料 依 頼 人 負 担										
振 込 先	徳島大正銀行 阿南支店			科 目										
	受 取 人	決済用普通預金 口座 番 号	8 5 3 9 0 7 5					金 額	¥	1	6	5	0	0
	取 人	ドク)コクリツコウトウセンモンガッコウキコウホンブ 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長			手 数 料									
	整理番号		0 0 1 0 0			検印	報告	記帳	受付					
志望コース		創造技術システム工学専攻			コース									
振 込 人	フリガナ									領収印				
	氏 名 (受検者)													
住 所	T e l () -													

(注) 郵便局からは振込みできません。
 A T M（現金自動預払機）による振込はできません。
整理番号・振込人氏名を必ず打電してください。

7 7 4 0 0 1 7

徳島県阿南市見能林町青木二六五

阿南工業高等専門学校 学生課 行

書
留

専攻科出願書類在中

切 手

(持参の場合)
は 不 要

書 留 引 受 番 号

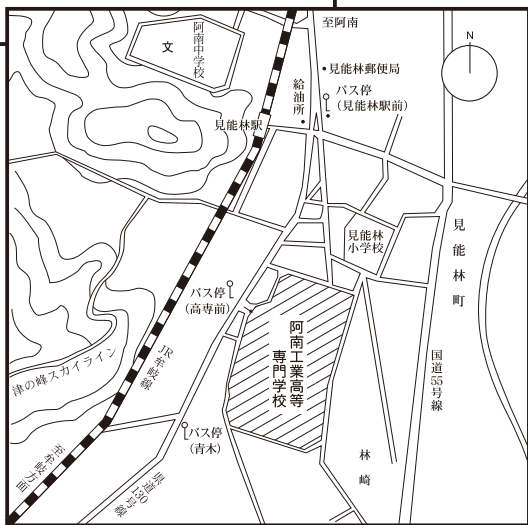
この封筒の中に、次の書類が入っているか確認し、
チェックしてから提出してください。

チェック 欄	提 出 書 類
	1. 入学願書・受検票・写真票
	2. 調査書
	3. 成績証明書、T O E I C ・英検等の 証明書の写し
	4. 推薦書若しくは自己推薦書 (推薦選抜・社会人特別選抜・AO選抜)
	5. 検定料振込金証明書 (金融機関領収印の押印されたもの)
	6. あ て 名 票
	7. 受検票返信用封筒(持参の場合は不要)
	8. 外国人は、市区町村長の交付する 住民票
	9. 専門課程を修了したことを証明する 証明書(専修学校を修了した者のみ)

差 出 人

住 所	
氏 名	

検査場位置図



本校への交通案内

經路 ①

※空路

羽田空港～徳島空港 1時間15分

經路 ②

※高速バス

大 阪 駅～阿南駅 3時間 6 分

三ノ宮駅～徳島駅 1時間48分

舞子～徳島駅 1時間18分

經路 ③

※徳島空港より

(徳島バス：空港線)

徳島空港～JR徳島駅前 25分

※JR徳島駅より

(JR牟岐線)

JR徳島駅～阿南駅 40分

JR徳島駅～見能林駅 50分

(徳島バス：橘線)

JR徳島駅前～阿南高専前

1 時間 5 分

※JR見能林駅より 徒歩10分

※JR阿南駅より タクシー5分

建物配置図

